



「元気な子どもたち」シリーズ

「西川ジュニアライオンズ」のみなさん

活動紹介は裏表紙にあります。

# 西川町 議会だより

2017.10.16 102号

発行 山形県西川町議会

9月定例会報告	2頁
補正予算	4
一般質問	6
決算審査	10
臨時会報告	15
町民と議会の対話の集い	16
常任委員会の動き	20
行政視察報告	22
議会の動き	23

※モニターの声は前号の議会だよりに対するものです。



# 平成28年度の各会計決算を認定

平成29年9月定例会は、9月4日から14日までの11日間の会期で開催されました。  
町からは、29年度一般会計補正予算等5件、28年度各会計決算認定11件、人事案件1件、条例の一部改正案1件、工事請負契約1件が提出され、慎重審議の結果、全議案が可決されました。  
議会からは、全国森林環境税の創設に関する意見書など3件の意見書を提出し、慎重審議の結果、全て可決されました。一般質問は4人の議員が行ないました。

## 契約の締結

☆平成29年度西川町定住促進住宅建設工事

- \* 契約金額 1億1千880万円
- \* 契約相手方 株式会社 佐藤建設
- \* 契約の方法 指名競争入札
- \* 工期 平成30年3月30日
- \* 建物の概要
  - ・ 木造2階建て\*メゾン
  - ・ ネット型3LDK
  - ・ 1棟6戸、延べ床面積489・40㎡
- \* メソネット (全員賛成)  
集合住宅の1住居が2階建てになっており、中に階段を設けて上下階をうごくタイプ。

## 人事

☆西川町教育委員会委員の任命(新任)

大泉奈緒子さん(海味)  
※平成29年9月30日をもって長登恵子さんが任期満了となるため。  
(全員賛成)

## 意見書の提出

☆全国森林環境税の創設に関する意見書

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となつて実施する森林整備等に必要なる財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地



▲高性能林業機械「フォワード」による木材搬出作業

方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に關し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。  
(賛成8・反対1)  
反対 飯野咲子

## 条例の一部改正

☆西川町路線バス条例の一部を改正する条例

運行路線10路線のうち3路線について、始点と終点を改正することで、利用者の迅速かつ安全な運送と効率的な運行を行なうことにより、町民の福祉の増進に寄与する。  
また、3年に一度の、道路運送法第79条の6に基づき、く自家用有償旅客運送登録申請の有効期限満了に伴い、

更新するための改正である。  
主な改正  
\* 虎屋酒造線 終点を「にしかわ保育園」から「間沢」に改める。  
\* 岩根沢線 始点を「岩根沢小下」から「桂林」に改める。  
\* 小川線 終点を「老人福祉センター」から「間沢」に改める。  
\* 道の駅にしかわ・寒河江駅線 「綱取」を「綱取不動尊」に改める。  
(全員賛成)

☆地方財政の充実・強化を求める意見書

- ① 社会保障や環境保全、地域交通確保、人口減少対策、東日本大震災避難者対策など、継続・増大する地方自治体の財政需要を的確に把握しこれに見合う地方一般財源総額を確保すること。
- ② 特に、子育て支援、医療と介護・福祉の連携を進める「地域包括生活ケアシステム」、生活困窮者対策、介護保険・国民健康保険制度の見直しなど、増加する社会保障ニーズへ対応するため、人材確保を含めた社会保障予算の確保と地方財政措置を講ずること。
- ③ 地方交付税の算定においては、住民生活の安心・安全が確保されることを前提とし、地方の特色を十分に発揮できる、きめ細やかな算定方式の導入を行うこと。
- ④ 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した段階補正の強化などの対策を実施すること。

☆教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかる意見書

- ① 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- ② 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

※3件の意見書の提出先は、関係大臣、衆・参議院の両議長です。  
(全員賛成)

## 教育委員会事務事業評価点検報告

伊藤功教育長より、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、平成28年度教育委員会所管事務事業のうち7つの事業について、点検と評価を行った旨の報告がありました。



▲建設工事が始まった定住促進住宅(海味)  
※後方の白い建物は若者定住促進住宅



## 主な補正予算歳出

(万円未満四捨五入)

### 一般会計

#### ■総務費

公会計制度導入支援業務委託料…………… 367万円  
システム改修委託料  
マイナンバーカード記載事項充実… 324万円  
社会保障・税番号制度システム整備 54万円  
ふるさと納税対策経費…………… 6,160万円  
地域づくり活動補助金…………… 79万円  
月山湖大噴水点検整備委託料…………… 56万円

#### ■民生費

障害者自立支援給付支払システム  
改修委託料… 86万円  
介護保険特別会計繰出金…………… 139万円

#### ■農林水産業費

農業集落排水事業特別会計繰出金…………… 274万円

#### ■消防費

消火栓更新工事費…………… 72万円  
防災行政無線電柱共架関係工事費…………… 54万円

#### ■教育費

町歴史民俗資料館(仮称)整備  
実施設計業務委託料…………… 440万円  
公民館等施設整備事業補助金…………… 105万円  
スキー競技用タイム計測システム購入費 356万円

### 国民健康保険特別会計

事業確定に伴う交付金等超過分返納… 258万円

### 農業集落排水事業特別会計

本道寺処理場放流流量計更新工事…………… 274万円

### 西川町介護保険特別会計

決算に伴う介護給付費準備基金積立金 941万円  
介護給付費交付金返納金…………… 139万円  
一般会計繰出金…………… 101万円

### 水道事業会計

消火栓更新工事費負担金…………… 72万円

# 補正 予算

平成29年度の補正予算案は次のとおり可決しました。

#### ◆一般会計

54億3,735万2千円(8,830万9千円追加)  
(賛成8・反対1:飯野咲子)

#### ◆西川町国民健康保険特別会計

7億6,828万6千円(257万9千円追加)  
(全員賛成)

#### ◆西川町農業集落排水事業特別会計

3,045万6千円(274万3千円追加) (全員賛成)

#### ◆西川町介護保険特別会計

7億6,586万8千円(1,180万6千円追加) (全員賛成)

#### ◆西川町水道事業会計(資本的支出)

4,790万6千円(72万3千円追加) (全員賛成)

### 質疑・応答

#### ふるさと納税対策経費

**問** 経費のうち寄付者への返礼品は寄付額に対し何割か。

**答** 送料を含めると57%程度になるが、割合については今後検討する。

**問** 総務省からは返礼品割合を30%におさえるよう指導があるが、そうなった場合、産品変更の周知方法は。

**答** パンフレットや町のホームページで行なう。

#### 顔の見えるやまがたの木で家づくり推進事業補助金

**問** この補助金の交付先はどこか。

**答** 西山杉利用促進協議会の住宅建築部会「西川町匠の会」である。



▲ 民具が展示されている旧西部中学校

#### 町歴史民俗資料館(仮称)整備設計

**問** 旧西部中にも資料が展示されているが、これをどう生かすのか

**答** 旧西部中に展示していた民具を旧川土居小に移し、人々の暮らしや産業変化などの民俗資料としての展示を考えている。

**問** ストックヤードの進捗は。

**答** 森林組合が実施し、町が支援していく。現在地元と協議中である。

#### マイナンバーカード

**問** マイナンバーに係るシステム改修について現場はどう考えているのか。

**答** 旧使用拡大や年金に対応するための改修で、町民の利便性が高まるものと考えている。

**問** 旧川土居小は2、3階を資料館として計画しているが、1階を食堂として利用しており、そこで火を使うことに問題はないか。

**答** 消防法等を考慮し安全にする。十分に配慮した設計をする。



▲ 町歴史民俗資料館(仮称)として整備予定の旧川土居小学校



# 一般質問

核兵器  
廃絶

## 平和を守る取組みを

### 町長 核なき世界が実現されることを望んでいる



飯野 咲子 議員

今年には戦後72年目にあたる。町の戦没者は625名だが、遺族の参列者は78名の町慰霊祭だった。戦争体験者がどんどん減っている新聞に「終戦72年、揺らぐ不戦」とあった。今、日本はまさに戦争か平和かの岐路に立っている。

8月29日、北朝鮮が弾道ミサイルを発射した。国際社会が対話による解決を模索している中で、それに逆行する行為だ。緊張は高まっているが、その解決には対話の道しかない。平和を守るために、思想や信条の違いを超えて力を合わせるという思いで次の質問をする。

**問** 平和の町宣言には「核兵器の廃絶」という文言があり、既に核兵器の廃絶を含めた宣言となっている。

**答** 平和の町宣言には「核兵器の廃絶」という文言があり、既に核兵器の廃絶を含めた宣言となっている。

#### 非核平和宣言



▲戦没者追悼式

**問** 核兵器のない世界を実現しなければ真の平和はない。西川町の平和宣言の垂れ幕に「非核平和」とすべきでは。

**答** 核兵器のない世界を実現しなければ真の平和はない。西川町の平和宣言の垂れ幕に「非核平和」とすべきでは。

#### 核兵器禁止条約

7月7日、国連で「核兵器禁止条約」が賛成多数により採択された。世界で唯一の被爆国である日本の政府は不参加としたが、「核兵器廃絶国際署名」に署名をしている町長としての所見は。

**問** 「核兵器禁止条約」が賛成多数により採択された。世界で唯一の被爆国である日本の政府は不参加としたが、「核兵器廃絶国際署名」に署名をしている町長としての所見は。

**答** 国内外の情勢を総合的にふまえた、非常に高度な日本政府の判断だと考えている。世界の恒久平和を実現するために、全国民での議論が行われ、唯一の被爆国である日本が求める核なき世界が実現されることを望んでいる。

#### 核のゴミ・放射性廃棄物

まだ復興にほど遠い福島原発事故周辺の現状とその教訓も生かすことなく、多くの国民の稼働反対に耳を貸さずに、原発再稼働を決定する国に対する町長の所見は。

**問** まだ復興にほど遠い福島原発事故周辺の現状とその教訓も生かすことなく、多くの国民の稼働反対に耳を貸さずに、原発再稼働を決定する国に対する町長の所見は。

**答** また、低レベル放射性廃棄物・埋設管理でも365年かかるといふ核のゴミに対する町長の考えを。

#### 憲法9条

安倍首相は憲法9条に3項を追加して自衛隊を書き込み、2020年の施行をめざすと言っている。戦争をする国にしないために、世界が羨望する憲法9条を堅持し、憲法を活かした平和な日本を築くことが、ひいては世界に波及すると考える。立憲主義への考えも合わせ、町長の所見を。

**問** 安倍首相は憲法9条に3項を追加して自衛隊を書き込み、2020年の施行をめざすと言っている。戦争をする国にしないために、世界が羨望する憲法9条を堅持し、憲法を活かした平和な日本を築くことが、ひいては世界に波及すると考える。立憲主義への考えも合わせ、町長の所見を。

**答** 憲法は国民の権利や自由を守るために国民が定めた最高法規である。まさに立憲主義であり、第9条のみならず尊重すべきものである。個人の基本的な権利が保障され、個人の権利や自由が侵害されないために、国民が憲法を持っているという観点では「憲法第9条を守り抜き」というより「憲法第9条を守らせ」と言うべきである。

# 一般質問

観光  
対策

## カヌーの町をこれからどう生かすのか

### 町長 カヌー関連のイベントを創出しカヌーの町西川をPR



奥山 敏行 議員

富山県で開催された全国中学生カヌー大会や、月山湖で開催されたインターハイカヌー競技などで、町内の中学生、高校生がともに素晴らしい成績を上げ、高校生は男女ともに総合優勝を遂げた。

#### 費用対効果は

**問** インターハイカヌー競技の費用対効果はどうだったか。

**答** 費用については、職員の人件費等を除き、実行委員会へ



▲インターハイカヌー

の負担金がカヌー競技と登山大会で1千68万4千4円である。カヌー競技での経済効果は、概算で最も大きなものは、選手、監督等の宿泊関係で約3千100万円と推計している。

その他、町内小売店における飲食店や土産品などの購買関係で約700万円、会場設営に關しての業務委託等でも大きな経済効果があったものとみている。

#### 観光面での利用は

**問** 競技カヌーでは、西川町月山湖は全国に名を売っているが観光面での利用に結びついていないのではな

**答** これまで様々な全国レベルのカヌー大会を招致し、交流人口の増大を図り観光振興につなげてきた。

また、月山サマーフェスタでのカヌー体験など観光資源としての活用を図っている。今後もドラゴンカヌーを活用したイベント



▲ドラゴンカヌー

など新たな取組みを加え「カヌーの町西川」を全国に発信していく。

#### 1000mコース計画は

**問** 月山湖カヌー競技場の1000mコース延長計画は現在どのように進んでいるか。

**答** 山形県等関係機関に、実現に向けた整備手法の協議や支援をお願いしてきている。県カヌー協会としても県や日本カヌー連盟等関係機関に、コース整備のための財政的支援

#### オリンピック合宿

**問** 2020年の東京オリンピック時には県周辺で合宿を行なう参加国があると思うが、カヌー選手の動きなどを把握しているか。

**答** 競技種目によって違いはあるが、東京オリンピックの出場選手等は現時点で決定されていない。候補選手や出場に向けた遠征合宿という観点では、比較的小規模の選手団で複数種目の競技選手を迎える県内2市からカヌー選手の合宿地として月山湖を使用した旨の打診はある。



# 一般質問

## 介護 老老介護の実態と地域包括ケアシステムづくり

町長 多様なニーズに応え得る体制を整備していきたい



宮林 昌弘 議員

西川町の高齢化率は41・3%と山形県内トップである。また、一人暮らし世帯230世帯のうち75歳以上の老人世帯は154世帯、二人暮らし老人世帯は319世帯で、合わせて550世帯が老人世帯になっている。老老介護も増えつつあると思われ、在宅介護を含め、高齢者の介護福祉の更なる充実が求められるので、次の質問をする。

### 老老介護の実態

**問** 本町の要介護認定者は344人で、介護施設利用者は112人、在宅介護者は2

32人いるが、介護される人の方か65歳以上の老老介護の実態をどう把握しているか。

**答** 二人暮らし老人世帯のうち要介護1以上の方がいるのは30世帯となっている。また、家族がいる世帯において介護する方が65歳以上の世帯は、76世帯である。

### 地域包括ケアシステム実現の体制づくり

**問** 厚生労働省では重度の要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を実現したいとしている。本町の体制づくりはどの程度進んでいるのか。

**答** これまでの施策の取組みにより、地域包括ケアシステムの実現は図られているものと考えている。今後は、多様なニーズに応え得る体制の整備を進めていきたい。

### 町内介護施設の利用状況

**問** ①ケアハウス西川の利用者と待機者は、それぞれどのくらいいるか。  
②小規模多機能住宅介護「ケアセンター」として西川」の利用状況を把握しているか。

**答** ①現在のケアハウス西川の入所者は96人である。待機者は30人で、そのうち在宅での待機者は11人である。  
②としえ西川の利用登録定員29人のうち、現在の利用登録は22人である。利用実績は7月の1日平均で通所が12・3人、宿泊が6・



▲ケアセンターとしえ

5人、訪問介護が3・5人である。  
2階のサービス付高齢者向け住宅は、定員11人中、6人の入居である。

### 在宅介護者への手厚い援護

**問** ①寝たきり介護者への激励金は35人に一律1万円を支給している。議会では増額支給を政策提言したが、実施できなかった理由は何か。  
②家族介護者交流事業を実施しているが、参加者が2回で25人と少

なく、参加できなかった方101人に、介護者激励品を贈っている。本来の交流事業の趣旨を逸脱したものであり、本事業を見直すべきでないか。

**答** ①現金給付よりもショートステイやデイサービスなどの定期的な介護サービス利用が、在宅介護者の負担軽減につながる。声が多く聞かれる。  
②家族介護者交流事業を始めた当時は、ショートステイやホームヘルプサービスの利用が少なく、家族介護者が気を休める時がなかった。そんな方々が1日も気を休める機会を設けようということから始めた事業である。現在は様々な介護サービスの利用が図られており、この事業への参加が少なくなっているものと捉えている。今後はニーズをきちんと把握し、対応していきたいと考える。

度をどのように考えているのか。

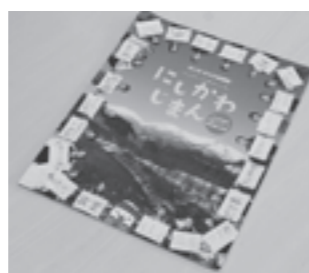
**答** 6次総に基づき、政と地域が連携し、町民一人ひとりが地域づくりやまちづくりに関わっていくことを説明している。

しかし、制定後、時間が経過し、意識や関心なども薄れてきていることはあり得る。今後、策定を予定している6次総の後期計画及び実施計画の見直しに際し、町民にも再認識していただきたい。

### 幸福指標

**問** まち自慢運動の「西川町版幸福指標の創設」は「にしかわじまん」の冊子が第一歩というが、その第一歩は何か。

**答** 対応を進めるため、昨年7月に「里山社会・文化研究所」を設置した。町民や地域



▲にしかわ自慢の冊子

**問** 里山社会・文化研究所は、4つの大学の先生のほか、町民から公募する研修員で構成するとしているが、まだ公募していない。動きが遅いのは、

**答** 現在のところ、その体制や基盤づくりを行なっている段階であり、その進捗状況をふまえて実施したいと考えている。

# 一般質問

## まちづくり 町の基本的な考え方を周知するには

町長 再認識していただくよう努めていく



佐藤 耕二 議員

西川町の正しい呼び方や基本的な条例等を、今後どのように活用し、町民に周知徹底していくのかを問う。

### 西川町の正しい呼称は

**問** 昭和29年に合併して西川町が誕生してから「にしかわまち」が正式な呼称である。町民一人ひとりが理解し、正しく呼び合うことが必要。その町民の方々への周知の方法は、

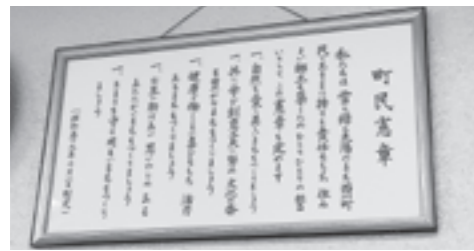
**答** 市町村の名称は地方自治法第3条第1項に「従来の名称による」と規定されている。条例では呼び方を規定していないため、従来の名称である「に

しかわまち」と呼ぶと理解している。町民への周知について、行政に関する文書や事業などでは呼び方の統一がなされているが、なるべくふりがなを付けるなどの対応を図りたい。

### 町民憲章

**問** 昭和59年に「町民憲章」や町の木・花等が制定されている。町民の理解度は、

**答** 現在、特別な周知は行なっていないが、役場庁舎の1階玄



▲町民憲章

関や各地区公民館などの施設、小中学校などにも掲示しており、町民の目に触れる機会はある。ある程度の認識と理解をいただいているものと捉えているが、さらに周知を図ってきたい。

### 町民歌

**問** 町民歌はどの程度の方が歌えるのか。防災行政無線で午後6時に毎日流してはどうか。

**答** 町を象徴する歌である。生涯学習関係の行事等ではよく歌われている。今後も積極的に歌っていただきたいと思う。

### 基本条例

**問** 第6次西川町総合計画の「みんなが主役運動」の西川町まちづくり基本条例は、町民に何を求めているのか。また町民の理解



# 決算特別委員会

## 平成28年度一般会計 特別会計、事業会計

# 決算審査



平成28年度西川町の財政の健全化判断比率	
実質公債費比率	将来負担比率
全会計の償還額が標準財政規模に占める割合 【25%以内であること】	将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合 【350%以内であること】
9.9%	6.9%
※参考 河北町:12.8% 大江町:4.5% 朝日町:1.5%	※参考 河北町:52.6% 大江町:38.6% 朝日町:-

**問** せせらぎ団地を町が買い上げたが、

**答** 環境関係に使用。環境にやさしいエネルギーとしてバッテリーに流して使っている。

**問** 総務費の光熱水費が前年比で94%。LEDの効果というが、太陽光パネルの効果は。

**質疑・応答** 太陽光パネル

平成28年度決算審査にかかる決算特別委員会（議長と議選監査委員を除く8名で構成）を、9月8日から4回にわたって開催しました。委員会では、一般会計、特別会計、事業会計の歳入歳出決算について慎重に審査した結果、全員賛成で認定しました。

**問** 以前はふるさとクーポンや自然水の製造、まちづくり応援団などがあつたが、平成28年度の職員提

**答** 地域防災の中でお願したい。

**問** 消防用の箱に入っているホースの劣化状況の確認は、誰が行なうのか。

**非常備消防** 各地区の消防団員の、平日に対応可能な人数を把握しているか。

**答** 建設水道課に草刈り等をお願している。利用希望者を探している。

**問** 設置は助かっている。災害時には電気も使えなくなるが、その対策はどうなっているか。

**防災行政無線**



▲第2庁舎車庫

**答** 現状のとおり管理する。ETCカードは一元管理している。

**公用車管理** 公用車を総務課の一括管理としてはどうか。

**答** 政策に反映できる提案はなかった。

**問** アンサーバックに鍵がつかない。緊急時に使いたい。

**答** 1ボックスに鍵が3個ついていて、設置されているボックスすべてに同じ鍵が使える。各地区の活動にも活用して慣れてほしい。

**問** 町のビッグイベントがあるときに、防災行政無線の活用はできるのか。

**答** 防災行政無線なので、各課から要請があれば、緊急でないものは朝8時30分に流す。今後も活用していく。地域でもお祭り等に活用してほしい。

**答** 本部とやり取りができるアンサーバックは14か所にある。バッテリーが装備されていて、電源が遮断されても72時間は放送、発信ができる。

### 一般会計・特別会計決算状況

(万円未満四捨五入)

会計		歳入総額	歳出総額	差引残額
一般会計		62億 910万円	57億9,652万円	4億1,258万円
特別会計	国民健康保険	7億9,927万円	7億5,075万円	4,852万円
	事業勘定			
	施設勘定(大井沢診療所)	323万円	317万円	6万円
	簡易水道	5,755万円	5,638万円	117万円
	公共下水道事業	1億6,329万円	1億6,259万円	70万円
	農業集落排水事業	2,527万円	2,479万円	48万円
	寒河江ダム周辺施設管理事業	405万円	380万円	25万円
	後期高齢者医療	8,425万円	8,407万円	18万円
	介護保険	6億9,945万円	6億9,002万円	943万円
宅地造成事業	4万円	4万円	0円	
合計	80億4,550万円	75億7,213万円	4億7,337万円	

### 事業会計決算状況

(万円未満四捨五入)

会計		収入額	支出額	収支差引額
病院事業会計	収益的(医業にかかる収入、支出)	6億6,188万円	6億5,879万円	309万円
	資本的(補助金収入、施設の建設改良費など)	1,686万円	7,399万円	△5,713万円
水道事業会計	収益的(料金収入、施設の維持管理費など)	1億3,878万円	1億2,685万円	1,193万円
	資本的(補助金収入、施設の建設改良費など)	4,004万円	6,950万円	△2,946万円

### ◆平成28年度財政の健全化比率報告

公債費の減少により、実質公債費比率は9.9%で0.5ポイント減と改善した。地方債残高や退職手当負担見込額などの増加はあるが、地方公共団体の財政健全化の判断比率となっている将来負担比率は6.9%で前年度より0.3ポイント減と改善した。

### ◆監査委員の意見

28年度一般会計及び特別会計、事業会計の計数は正確であると認められる。財政状況は、経常収支比率(必ず必要な金額の割合)は87.7%で、昨年度より4.5ポイント増加した。一方、一般会計の町債残高は67億7,477万8千円となり、5億9,10万6千円増加した。財政調整基金残高は17億5,98万1千円となり、2億2,925万4千円減少している。人口減少と少子高齢化が進む中、取り組みなければならぬ課題も多く、本町

の財政運営は今後とも厳しい状況が続くと見込まれる。自主財源である町税の的確な賦課、徴収に努めるとともに、国、県に対して、地方交付税など安定的な財政運営に必要な財源が確保できるような、所要の措置を講じることを強く働きかける必要がある。

一方歳出は、今後、義務的経費が増加する半面、補修の必要な橋梁の増加などが見込まれる。政策の優先順位を明確にし、事務事業の点検や、西川町総合施設等管理計画に基づく公共施設等の適正な管理など、行政経費の節減・効率化に努めていただきたい。

社会経済情勢が急変する中、町の発展に向け、第6次西川町総合計画や西川町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた人口維持や少子対策、産業振興、高齢者福祉などの諸施策や7つの重点プロジェクトを推進するため、健全で持続可能な財政運営に一層努めていただきたい。

西川町監査委員 高橋 将  
佐藤幸吉



### まちづくり応援団

**問** 趣旨は何か。この頃、懇親会のみイメージになっていたのでは。

**答** 本来の趣旨は町民との交流、町に対する協力支援、提案等をいただくこと。団員の高齢化もあり、新たな団員の加入や役員世代交代などにより、趣旨に沿った動きができるよう今後とも連携、打合わせを行なっていく。



▶まちづくり応援団による昨年度のふるさと植樹祭

### にしかわ薪火人の会

**問** どのような活動を行なっているのか。メンバーの人数は。

**答** 森林関係に興味を持つ方々で、森林を生かした活動に取り組んでいる。学習会、研修会を行なっている。会員は10人程度。

### 地域おこし協力隊

**問** 腰かけで終わっている感じで、定住目的にながっていない。どういった進め方でのようになっているのか。

**答** 当初、協力隊の趣旨を尊重する形で取り組んできた。目的を明確にし、支援も想定して事業を実施するように取り組んでいく。

### 協力隊は何人か。どこでも西川町のような対応、取り組みか。

**答** 現在4人。報酬は国の基準があり、町では16万6千円。どの自治体もこれくらいだと思う。住居も町が用意する。その他雑費については町村により違いがあるが、標準的な対応をしている。

### 税金

**問** 税収はずっと減り続けているのか。何か対策を講じているのか。東北電力に対して新たな設備投資の要請などを行ってはどうか。

**答** 寒河江ダム関係の償却資産の減により固定資産税が毎年減っているのは事実だが、東北電力に対する資産投資の面では、月に1回事業等含めて説明に来られた際にお願している。

### 滞納対策

**問** 前任の町税相談員が辞められて、現在はどのような状況になっているか。

**答** 募集に対し3名の応募があり、銀行員経験者で、山形市の60歳の方を6月からお願している。収納は順調で良い傾向にある。

### 臨時福祉給付金

**問** 給付率が100%になつてないのはなぜか。

**答** 該当者はシステムにより抽出し通知する。返事がない方には数回通知を出しながら、電話もしている。消費税引き上げのための交付で、引き上げ反対なので受け取らないと言う方や、3千円なら申請が面倒などと言う方もいて92%になった。係として粘りに粘ってこの数値である。

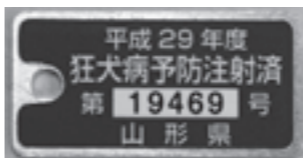
### 地籍調査

**問** 地籍図の修正が4件あるが、その内容は。今後修正が出てくるのか。

**答** 当時の調査が現況主義で、1件は長い池を新たに測量し、図面を作る経費がかかった。他の3件は県の道路工事等の際、その測量の一環で実施してもらい、町として費用はかからなかった。今後、発生しないとは言い切れない。

### 狂犬病予防接種

**問** 犬を飼った場合、自主登録なのか、それに対しての接種率100%なのか。



▲狂犬病予防接種の標識

**答** 狂犬病対策なので、登録は義務になっている。登録していない犬の飼い主に町が指導して登録をさせたケースがあった。台帳と照合しながら100%実施している。

### 環境問題・油漏れ

**問** 油漏れが9件あったと聞いたが、どのような状態で、その際はどのような届出が必要か。油の流出量にもよるのか。

**答** 漏れた量に規定はない。消防などが出動する。場合によっては個人負担が発生することもある。寒河江川や電気川(導水路)に流れると大ごとになる。町としてはお知らせ版で広報するしかない。県企業局や消防でも広報を行っている。



▲油流出事故処理

### 放射能測定

**問** 予算は国から来るのか。測定場所はどこで、誰が行なうのか。

**答** 町の単独予算である。西川中学校のグラウンドで空間線量を測定している。町民税務課の職員が担当している。

### 鳥獣被害(イノシシ)

**問** イノシシが捕獲された。被害状況はどの程度か。

### 鳥獣被害対策実施隊

**問** 現在23名だが、毎年、減っている。その対策をどのように実施しているか。

**答** 平成25年から弓張平、大井沢で確認され、昨年からは小山地区のわらび園の平のじゃがいも畑が荒らされた。昨冬に捕獲されたが、繁殖力が高く、被害の拡大が心配される。小山地区にはくくり罠を仕掛けている。

### 薪ストーブ利用拡大支援

**問** これまで補助を受けた台数はどれくらいか。

**答** 隊員が高齢になっていく。20代の町職員1人が狩猟免許を取得した。猟友会頼みになっているが、町として新たな隊員の確保が検討課題である。

### 小水力発電事業

**問** 建物は完成したが、発電までの予定はどうなっているのか。

**答** 24年度からの事業で合計39基になっている。薪ストーブ16基、ペレットストーブ23基である。

### 仁田山放牧場

**問** 現在の、観光面の活用状況は。

**答** 水車の発注を行ない、現在は、配管工事や水槽、土木工事等を行っている。今後、機械を設置し、30年夏ごろから試験運転を行うなど、11月からの発電に向けて進めている。



▲仁田山放牧場

**答** 積極的にオープンしていただければ、要望に応じている。特に人数制限もなく、

### 啓翁桜の加温ハウス

**問** 吉川に新築したが、利用が終わった後で別の何かに利用する考えは。

**答** 施設は町が補助金を交付して、農協が管理している。2、3月になると空いてくる。ふきのとうなどの考えはあるが、誰がやるかが課題になる。農協と話をしながら何とかできないかと思案している。



### 西川町雇用確保対策事業

**問** 予算額の積算についての考え方は。

**答** 町内の企業に勤めていただきたという事で、町内に勤めた方に10万円、その受入企業にも10万円交付することとし、3人分を計上している。

### 町長交際費

**問** 町長交際費をどのように捉えているか。

**答** 町民の厳しい目があると捉えている。極力、最小限の費用でという気持ちで事務にあたっている。

### 里山社会・文化研究所

**問** 里山社会文化よりも、里山を活用した町づくりを、どう進めるべきか。方向性も含めて、即、見直しを図るべき事業でないか。



▶里山社会・文化研究所 設立会議の様子

**答** 町の里山文化を掘り起こし、町民に誇りを持つてもらいたい。大学の先生方には中央の情報を町に生かしてもらおう。まちづくりの基本は人であり、人材育成をこれまでも増して実施したいので、ご理解をいただきたい。

### 第3セクター 修繕費

**問** 修繕費が4件で、水沢温泉、大井沢温泉の管理経費と修繕費を合わせて

700万円になる。発芽胚芽米の製造施設と修繕費で670万円である。こういう維持管理をしているなら赤字を出さなくてはならないと思うが、赤字になっている。出資者である町長はどう考え、社長である副町長は、どう捉えているのか。

**答** 施設そのものは行政として大きな目的を推進するために整備をしてきたもので、不採算の部分は、当然町が責任を持たなければならぬ。(町長答弁)

20万円以下の修繕は会社が、建物は町の施設なので町が、それぞれ行なう。第3セクターは、営利を追求するだけの会社ではない。赤字を指してセールの等に努めているが、思うようにいかない。また町内の活性化を妨げるものではなく、町内の物を販売しているため、利益は少ない。そういうところ



▶イチオシの返礼品「地ビール月山」

でもがんばっている。(副町長答弁)

### ふるさと納税

基金積立金も1億円台に達し、ありがたい。使い

**問** 道について、28年度に5千万円を使っている。1事業に使えば大きな事業ができると思うが、あまりに多方面に一般財源化して使われ、問題である。本来の使い方になっているのか。

**答** 毎年額も増えてきており、考慮しながら財源としての検討をしたいと思っている。

### クラス編制

**問** 現在の中学校1年生は小学校3年生の時から1学級になっていると聞いた。人数が増えなければ中学校卒業まで1学級の編制となる。その他にも保護者にとって様々な心配があると思う。そのようなことに対し、町はどう対応するのか。

**答** 山形県は少人数学級編制「さんさんプラン」で35人学級を進めている。1学年1学級は常態化し、9年間同じ環境で過ごすこととなる。現在、町では一人ひとりにきめ細かな学習を提供するため、中学校に2人、小学校に4人の学習生活指導教員を配置し、できるだけ複数体制で指導している。

### 通学

**問** 中学校保護者との話し合いで、間沢、沼山の生徒の通学について、雨の日のバス通学を実施してほしいという声があった。学校や保護者、教育委員会の三者で協議する場を持つことが大切だと考える。

**答** 保護者の皆さんから充分な理解をいただいていると思う。機会を捉えて趣旨説明などを進めていきたい。



▲バス通学の様子(西川中)

### 雇用対策

**問** 各地区の首長選挙において公約に雇用対策を取り入れている。町長も所信表明の中で産業振興を図って雇用を増やすと述べたが、定住人口確保の面からも大事な問題である。予算書を見ても雇用対策が少ないのではないかと。雇用に対する町長の考えを聞きたい。

**答** 全国的に雇用のニーズは上向いている。以前から企業誘致を進めていたが、その観点では非常に厳しい面がある。特に、最近では中小企業を含めて海外へ企業が進出している。本町のような中山間地は企業を誘致しても労働力が足りない。地場産業をいかに進めて、総合産業、農業関係、観光関係で雇用の確保ができないかというのが、これまで一貫した考えだ。

### 浄化槽設置補助

**問** 補助事業の対象範囲はどのようになっているか。

**答** 基本的には個人に対する補助だが、店舗などの併用住宅についても補助は可能である。

### 住宅建築支援事業

**問** 以前は工事量もかなり多かったが、平成28年度は新築2件、リフォーム20件で、予算執行率も33%と低い。町内の住宅リフォームはほとんど収束状態まで進んだのではないか。

**答** 1200万円程の需要があったが、ここ2年は少なくなってきた。これと併せて浄化槽の補助についても今回は4件ということで比例しており、落ち着いてきたと考える。

### 大入間川橋の架け替え

**問** 豪雨災害に遭った大入間川橋の架け替えの進捗状況はどのようになっているか。

**答** 昨年度は補修が可能かどうか専門家調査を受けた。その結果、補修ではなく架け替えを行なうとしたが、まだ実施設計まで至っていない。



▶通行止めとなっている大入間川橋

### 第3回臨時会

7月27日開催

- 次の1件の議案が上程され、可決しました。
- ☆平成29年度町道向の原橋橋梁補修工事請負契約の締結
- \*契約金額 6千102万円
- \*契約相手方 月山建設株式会社
- \*契約の方法 指名競争入札
- \*工期 平成29年12月15日(全員賛成)

**問** 工事期間中の全面通行止めの予定は。

**答** 現時点では、片側交互通行で対応し、全面通行止めをせずに施工できるものと考えている。



# 今後も対話をしながら住みよい西川町へ!

## 第7回 町民と議会の対話の集い [間沢、吉川、入間、大井沢]

今回は7月25日から8月22日にかけて、間沢、吉川、入間、大井沢の4地区と、西川町商工会、西川中学校保護者、西川町を元気にする会GENの3団体との対話の集いを行ない、様々なご意見をいただきました。その一部を紹介いたします。

### 4地区で出された意見や質問など

4地区との対話の集いについては、参加者の皆さんからの質問、意見に対して議員が回答した内容を、抜粋して紹介します。

#### 議会に対して

**問** 議会だよりの一般質問を読んでも詳細が分からない。

**答** 字数やスペースの関係で詳細を伝えるに、今後工夫していきたい。

#### 農林業

**問** 西川町の農業に対する議会の考え方は。

**答** やる気のある人が経営し、そこで働く人を雇えば...と思う。

**問** 西川町では林業にもつと力を入れるべき。

**問** 農業の法人化が必要と思うが。

**答** 町では総合産業や山業として成り立っていない。園芸農業にも取り組んでいるが、中途半端に感じる。

**問** 町内の個人商店が少なくなっている。後継者不足も影響しており、農業も同じ問題を抱えている。耕作放棄地対策を急がねばならない。

**答** 町では総合産業や山業王国と言っているが、産業として成り立っていない。園芸農業にも取り組んでいるが、中途半端に感じる。

**答** 山がお金になることを示す必要がある。

**問** 県では県産材を奨励しているが、町の長期賃貸住宅は西山材を使っている。使わなければならないか。

**答** 体育館に多くの木材を使うなどの工夫もしている。今後とも西山材の利用について申し入れていく。

**問** 有害鳥獣が増えている。半面、狩猟人口が減っている。その対策をすべきだ。また※ジビエなどの活用も考えてほしい。

**答** 有害鳥獣による被害についてはご意見のとおり。また、ジビエには一つの町だけの解決は難しい面もあるとの見解もある。

※ジビエとは、狩猟で得た野生鳥獣の食肉を意味する言葉。フランス語で「ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化」。

**問** ある団体の役員会(会議)を行なう場合など、交流センターあいべに無料で利用できる部屋がほしい。他市町では解放している部屋がある。

**答** 事務室隣の町立図書館を会議で使っている場合がある。利用方法などを調べてみる。

#### その他

**問** ゆるキャラ「ガッさん」は、いつから現れたのか分からない。西川町をPRするのだからその効果をきちんと把握すべきだ。

**答** 意見として参考にする。

#### 防災

**問** 防災行政無線について、仕事の終わりを知らせてくれる夕方6時の放送は役に立つ。昼の時間も何らかの放送ができないか。

**答** 防災行政無線の放送については、家の中ではうるさいなどの声もあり、検討していきたい。

**問** 災害に備えた避難所の確保を検討してほしい。

**答** 来年は旧入間小学校の解体が予定され、避難場所の確保について議論していく。

**問** 防災行政無線が設置されたが、避難命令、避難確認について活用の仕方を明確にすべきである。

**答** 設備ができたので活用の仕方を充実させる必要がある。様々な災害に対し、どのような基準を作るかが、今後の課題である。

#### 人口減少・高齢化

**問** 人口減少が止まらない。アンケートなどにより町民の意見を聞いてその対策をすべきではないか。

**答** 人口減少は全国的な現象であり、減る速度を遅らせる施策を考えていく必要がある。

**問** 町内会の合併が話題になる等、人口減少による影響は大きい。議論を大いにしてほしい。

**答** 一家転出を無くすことが大切。また、IJUWターンの人も一緒に地区を守っていく必要がある。西川町は外から見ると観光資源にも恵まれ、「田舎生活」の有意義な点も町全体で考えていく必要がある。

**問** 今年度から免許返納者に出しているが、1年だけでなく数年間にしてほしい。

**答** 様々なご意見がある。今後の検討課題とする。

#### 生涯学習・生涯スポーツ

**問** 新しい体育館のトレーニングルームに専門の体育指導員を配置してほしい。

**答** 使い勝手の良い体育館にしていきたい。



▲ガッさん



▲町営バス「道の駅にしかわ寒河江駅線」



▲防災行政無線(海味公民館付近)

**問** 通学、通勤を考えた運行ダイヤになっているが、今後とも町民の足に繋がる施策として町と話し合っていく。

**問** 月山銘水館の食券自動販売機はお客様に喜ばれているのか。

**答** また、宴会などはどうなっているのか。

**答** いろいろな意見がある。宴会は夜6時からやっているようだが、金土日の3日間だけの営業である。



# 第7回 町民と議会の対話の集い

(商工会・中学校保護者・GEN)

## まちづくり

- ◆若者向けの政策が分かりにくい。
- ◆町の政策が悪い流れを防げるのか疑問だ。
- ◆どんな会合をしてもいつも同じメンバーで、新しいアイデアや提案が出るわけない。

関連

## 人口減少

- ◆西川町にはアパート形式の住宅がなく、若者の選択肢がなかった。みどり団地にある若者定住促進住宅のようなものがあれば定着に結びつく。
- ◆結婚すると町外に移ることが多い。西川町は、地域の維持に必要な事業がたくさんあり、若者には煩わしいことなのではないか。
- ◆若者が別居を望むのであれば町内の空き家の利用を進めてみてはどうか。

関連

## 雪対策

- ◎高齢者にとって冬の雪下ろしが無ければ住めるといふ人が多い。豪雪に対して国の補助制度を要望してほしい。
- ◎過疎化が進んで空き家が問題になっている。冬期間の雪下ろしが大変だ、30万円もかかることがある。

## 学校生活・通学

- ▼冬以外は自転車通学をしているが、雨が降ると親が乗せて行く。夏冬ともスクールバスの利用を可能にしてほしい。特に沼山地区は夕方暗くなると、地形的にも危険を伴う。
- ▼学校の方針によることで、PTAと学校、教育委員会などとの検討の場が必要だ。昔と状況が変わっている。現実に合わせて通学安全対策として考えるべき。
- ▼小学校が統合して、9年間同じクラスになるので2クラスに分けることは出来ないか。
- ▼保育園から中学校まで同じメンバーで生徒間の切磋琢磨がない。刺激がない。保護者から現状を訴え、意見交換の場を持つことが望ましいのではないか。
- ▼部活動について、新人戦に2年連続出場できないと廃部になる。部活動が縮小することになり問題だ。子どもの望みをかなえてやりたいが止むを得ない。
- ▼町外の中学校と合同での部活動はできないだろうか。また、どの部活動に力を入れるのかなど学校側と検討をしていくべきだ。

## 交通機関

- ◎町営バスが寒河江まで運行されるようになったが、谷地への路線も考えてほしい。
- ◎町営バスは空車が多い。バスを小型化すべきである。
- ◎運転のできない高齢者などを対象とするタクシーの乗り合わせ特区(タクシー互助会等)を考えてほしい。

## 生涯学習

- ◆図書館には良い本がたくさんある。

## 観光産業

- ◎スキー客が激減している。将来が心配である。
- ◆西川町には楽しめる観光地があるので、良いところに気づいてもらうためにも、町民の意識を変えていく必要がある。
- ◎バブル期まではスキー客が多かったが、以前に比べて3割まで激減している。年齢層の高いスキー客が多くリピーターになっている。
- ◎観光コースに半日コース、一日コースを作り、外国人観光も含め、観光ガイドの養成が必要である。
- ◎姥沢の山小屋の空き家が2軒あり、ぼろぼろで印象が悪い。空き家の解体補助を考えてもらいたい。
- ◆交流イベント「夏の陣」では寒河江ダムでカヌーを体験した。
- ◆大井沢の伝承館で大自然とのふれあい体験をした。
- ◆交流イベント「冬の陣」ではスノートレッキング体験や交流会をした。
- ◎夏山登山は、中高年者と若い人も来るが、将来、孫の代にどうなるのか心配だ。
- ◎インバウンドに対応できる観光ガイドの養成が必要である。

西川町議会だよりでは見たことのない紙面が登場して驚かれた方もいらっしゃると思います。今回の各団体(商工会、中学校保護者、GEN)との対話の集いは、出席者がともに意見を述べ合う形になりました。その中には、他の分野と関連づけて考えることのできるものもありました。そこで、紙面での紹介にあたっては、問答方式よりも、このような図表を用いることとし、意見を整理した場合の一例として示させていただきます。どこから読み始めていただいても結構です。

## 買物問題

- ◆買物をする所が少ない。品物の安い方に客は流れる。
- ◆直売所には安いものが多い。
- ◆町内の店が連携してネットスーパー(通信販売)などのシステムを作れないだろうか。高齢者などにタブレット端末を配布して、買物や図書館の利用などにも活かせるのでは。
- ◆顔の見える販売も大変良い。
- ◎町民の買い物支援として移動販売車は有効だ。これに対する何らかの事業補助が必要である。
- ◎フレカ事業に20万円の補助があるが運営する上で大変になっている。町民の買い物支援の観点から増額支援をお願いしたい。
- ◎プレミアム付商品券2,000万円分の商品券は4日で完売した。
- ◎プレミアム付商品券とフレカ券協力店の売り上げは伸びている。

## 空き家対策

ここに皆様のご意見を記入して、それが他のどんな意見とつながるか、考えてみませんか？

## この表の見方

- ①各団体と個別に開催した対話の集いにおいて交わされた主な意見について、関連することから矢印で示しています。
- ②どの「対話の集い」で出された意見なのかは、それぞれの文頭のマークでご確認ください。  
◎：商工会、▼：西川中保護者、◆：GEN
- ③上記はそれぞれの所属の方だけでなく、議員個人の意見も同じように扱っていますので、その点をご承知おきください。

## 出会い

## 結婚

- ◆西川町には、カフェもなく、出会いの場がない。時代に合わせた改革が必要だ。
- ◆町内外の人を集めてイベントを組んでいる。2回、3回と実施しているうちにまた来たいという気持ちになる。交流を通して結婚に結びつけることも大切だ。
- ◆最初から「婚活」を前面に出したイベントをやっても人は集まらない。難しいことを言わずに楽しいことをやった方が良い。



# こんな活動をしています

## 常任委員会報告

### 「女性によるまちづくり会議」の事務調査を実施

今年度の本委員会の事務調査項目の一つである「女性が活躍できるまちづくり」について、7月24日、本町の「女性によるまちづくり会議」の事務調査を行いました。



▶5月に行われた「女性によるまちづくり発表会」

#### ◆設置の目的

西川町第6次総合計画では「キラリ☆月山 健康元氣 にしかわ」をテーマに3つの町民運動と5つの基本目標を掲げています。その基本目標の1つに「子どもや若者の笑顔あふれ女性がいきいきするまちづくり」を掲げ、女性が活躍できるまちづくりを目指しています。

平成28年度に女性の視点や発想の導入を行なう動機づけとともに、その自発的かつ主体的な行動を促していく機会づくりを行うため、「女性によるまちづくり会議」を発足し取り組みを開始しています。

#### ◆会議のメンバー

応募のあった14名で構成されています。

#### ◆事業費

平成28年度決算額22万9313円で、支出事由は講

師謝礼、講師旅費、事務費及び会議費です。平成29年度予算額は33万2000円です。

#### ◆事業経過

平成28年度は女性によるまちづくり会議を5回開催したほか、活動報告会、LOVEらほミーティング2回、星空プロジェクト会場の下見などを開催しています。

#### ◆今後の展開

- 次の事業の開催を計画しています。
- ・星空プロジェクト
- ・森の探検隊
- ・料理教室
- ・コミュニティカフェ視察
- ・フリーマーケット

#### ◆本委員会からひとこと

今後、仲間を多く集め、女性の視点で町を展望し、町長に政策提言できるような活発な活動になるよう期待しています。

### 旧西部中学校体育館などの現地視察を実施

7月6日、旧西部中学校体育館及びグラウンドと志津地区地すべり対策工事現場の視察を行いました。

#### ◆旧西部中学校体育館及びグラウンド

平成25年1月に、ケーシーフレーム(株)に無償譲渡された旧西部中学校体育館の

現状を確認しました。グラウンドに産業廃棄物を置いていましたが、付近の方々からの申し入れを受けて体育館内に保管しています。無償譲渡の際には工場として使用するという話でしたが、現在は、工場とかがえませんでした。

#### ◆志津地区

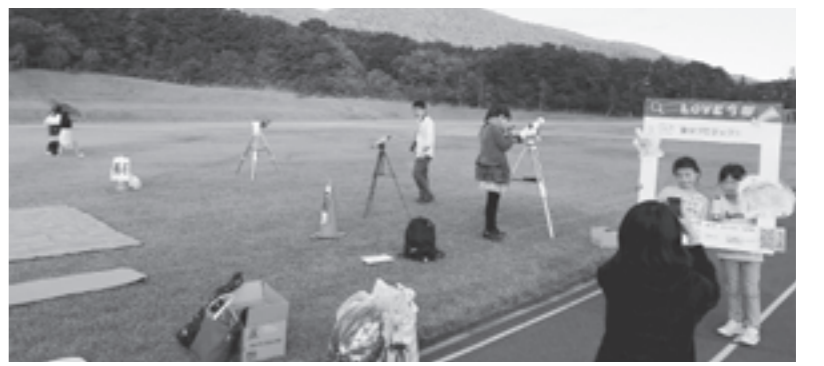
##### 地すべり対策工事現場

大越川と中沼沢川の対策工事について、現地にて説明を受けました。大越川においては16基の地下水汲み上げ機械が稼働中で、今年度は集水井設置工事が実施されるとのことでした。

中沼沢川においては異形ブロック積による床固工が実施されており、重機の無線操作などを視察しました。



▶9月に行われた「星空プロジェクト」の準備の様子



▲体育館内部を確認



▲ステージ前の状況



▲重機の無線操作



▲地下水汲み上げ機械



# 行政視察報告

## 読み親しまれる 議会だより

広報公聴常任委員会では、町民の皆さまから親しんで読んでいただける「議会だより」を目指すべく、7月20日、21日に、岩手県雫石町議会と宮城県七ヶ浜町議会での行政視察研修を行いました。

### ◎雫石町議会

「しずくいし議会だより」は、平成4年5月に創刊以来、今年7月に102号が発行され、編集は議会広報編集特別委員会の7名の委員により行なわれています。年間4回の発行で、1回あたり5600部を作成しています。

### 雫石町

(しずくいしちょう)  
人口：16,988人  
(平成29年8月)  
面積：609km<sup>2</sup>  
議員定数：16人

編集に関しては、①議会の活動状況を町民にわかりやすく知らせる。②町民の関心が高いと思われる議案等を優先的に掲載する。③町民から見た議会への提言を掲載する。などを基本方針とされています。また、最大の特徴は全国的にもめずらしい横組み紙面の、つまり紙面が全て横書きの文章となっている点です。平成16年の第50号から「目先を変える」という理由で始められた横組み紙面は、結果として町民の方々に受け入れられ、現在に至っています。

### ◎七ヶ浜町議会

「しちがはま議会だより」は、昭和59年7月に創刊以来、今年7月に132号が発行され、編集は、議会広報編集特別委員会の7名により行なわれています。年間4回の発行で、1回あたり6750部を作成しています。

平成4年に第11回宮城県町村議会広報選考会に入選以来、平成23年に全国コンクール最優秀賞を獲得されています。

### 七ヶ浜町

(しちがはままち)  
人口：18,983人  
(平成29年9月)  
面積：13km<sup>2</sup>  
議員定数：14人

たほか、5回の奨励賞受賞など、全国的にも高く評価されています。編集にあたっての基本的な考え方は「読みやすく、わかりやすく、親しまれる議会広報」を目指すことで

### ◎視察を終えて

今回の行政視察研修により、余白の取り方や文字数の制限、写真の掲載方法など、本町議会だよりの編集の上で大いに参考となりました。何より住民の方々が関心を持っている内容を記事にすることで、きちんと読んでいただけるのだということを確認しました。これらのことを、今後の西川町議会だよりの編集、発行に、大いに生かしていきたいと思えます。

## 地域が元気になる 観光はダメ!

### 観光はダメ!

9月27日、山辺町役場で開催された村山地方町村議会議長会の議員合同研修会に、議員全員で出席しました。

今回は、J.R東日本仙台支社長や(株)ジェイティービー常務取締役などを歴任し、現在は大正大学地域構想研究所の教授の清水愼一氏を講師に、「これからの観光地域づくり戦略」をテーマに講演が行われました。

講演では、観光戦略の基本を「観光地域づくり」とし、その地域に暮らす生活者の視点でのプログラムやストーリーに基づき、滞在体験交流型観光を目指すことの重要性などが説明されました。本町の観光産業推進にも生かせる内容であり、大変有意義な研修となりました。



## 10人の新たな読者モニターが決定

～親しまれる「議会だより」をめざして～

よりわかりやすく、読みやすい「議会だより」にするためには、町民の皆さまのご意見が欠かせません。1年間よろしく願っています。

- ※モニターの皆さんから寄せられた意見の一部は、毎回議会だよりで紹介いたします。
- ※昨年10月から1年間、読者モニターを務めていただいた10人の皆さん、ご協力ありがとうございました。
- ※前回の記事ではモニターの間を2年としていましたが、より多くの方々からモニターを務めていただきたいという理由から、従来どおり1年とさせていただきます。ご了承ください。

## 議会の動き

### 議会全員協議会

9月7日 財政の健全化判断比率及び資金不足比率報告ほか

### 議会運営委員会

- 7月18日 第3回臨時会の運営
- 8月21日 第3回定例会の運営

### 総務厚生常任委員会

- 7月24日 事務調査「女性によるまちづくり会議の現状」
- 9月6日 事務事業評価に係る所管課の聴取ほか
- 10月10日 事務事業評価とりまとめ
- 10月10日 事務調査「介護保険の現状と課題」

### 産業建設常任委員会

- 7月25日 事務事業評価の対象選考ほか
- 9月6日 事務事業評価に係る所管課の聴取ほか
- 10月10日 事務事業評価とりまとめ

### 広報公聴常任委員会

- 7月20～21日 行政視察研修
- 9月7日 編集会議
- 9月20日 編集会議
- 9月25日 第1回校正
- 10月2日 第2回校正・アドバイザー指導
- 10月5日 第3回校正
- 10月11日 第4回校正



「元気な子どもたち」シリーズ 2

# 西川ジュニアライオンズ 野球スポーツ少年団

保護者会長 大泉 匡寛さん (海味)



こんな活動をしています

西川ジュニアライオンズ野球スポーツ少年団は、毎週土日の午前に、西川小学校グラウンドで練習を行っています。

現在は、6年生5人、5年生3人、4年生1人の合



歴史的勝利

計9人の団員がいます。お気づきになると思いますが、野球は最低9人必要なスポーツですので、団員全員、与えられた役割をフルパワ―でがんばっています。

佐藤朗監督の下、キャッチボール、守備練習、バッティング練習など野球をするための基本動作やルールなどを教わりながら、大会や交流試合に向けて練習をしています。

今回は議会だよりの表紙で子どもたちをご紹介いただきました。実はこの撮影が行われる前に試合があったのですが、な、なんと何年ぶりの勝利を手にした直後だったのです。しかもこの日は二試合行われ、二試合とも勝利を収めました。子どもたちの努力、監督のご指導、保護者のサポートが実を結び、達成されたものだと、とても感動しました。勝つことが全てではありませんが、毎試合負けてばかりで、昨年はメンバ―

チームワーク

野球に限らず団体競技はチームワークが大切です。野球は、両方のチームに攻撃と守備の機会が平等に与えられ、攻撃に関しては一人ひとりにその機会がまわってきます。たとえ守備でエラーをしても、自分やチームメイトの攻撃で挽回できます。このように、個人がミスしても、それをチームワークで解決できるこ

とや、失敗してもやり直せる(失敗を恐れない)こと、仲間助けたり助けたり助けてあげたりすることを、野球を通じて体験することができま。これから子どもたちはいろんな場面で「チームワーク」が必要になっていきます。この経験が、少しでも生かされたらと思っ



最後に、憧れのプロ野球選手になれても、なれなくても、その時与えられた中でのプロを目指してほしいと願っています。

編集後記

地区の敬老会に参加して、思いがけない嬉しいことがありました。私の顔を見るなり「憲法9条は変えではだめだ、守らんなねな」と凛とした声で、大きな笑顔で話しかけてくださる方がいらっしやいました。日本国憲法堅持派！お酒をお注ぎして、大いに語り合いました。

この度の広報公聴常任委員会研修もまたひとしお、印象に残るいい研修でした。ありがとうございました。読んでもらえる紙面づくりに精進します。(飯野咲子)

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

パソコンのインターネットでもご覧いただけます

次回定例会は  
**12月です**  
(12月4日～8日の予定)



※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

《発行・編集責任者》

議長 伊藤 哲治

《編集委員》

委員長	大江 広康
副委員長	飯野 咲子
委員	宮林 昌弘
委員	佐藤 幸吉
委員	横山 修

●ご感想お寄せください。